

研究方法各論（質的研究法）

[講義] 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○宮地普子 [miyajih@hoku-iryo-u.ac.jp]
平典子 [hiran@hoku-iryo-u.ac.jp]
花淵馨也 [hanab@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

研究方法各論では、研究方法論の基礎的知識をふまえ、質的研究法の特徴と種類、フィールドワークとしてのデータ収集法およびデータ分析法に関して、講義とグループディスカッションを通して学習する。

【学修目標】

1. 質的研究法の特徴を説明できる。
2. 代表的な質的研究方法の特徴として、理論的背景、データ収集と分析の特徴を説明できる。
3. 学習した方法論の特徴を捉え、研究の問いに応じた適用について説明できる。
4. 質的研究法におけるデータ収集および分析法を理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	質的研究法の特徴と種類(1)	ガイダンス グループディスカッション エスノグラフィー グラウンデッド・セオリー・アプローチ	平 宮地
3) 4	質的研究法の特徴と種類(2)	文化人類学におけるフィールドワーク	花淵
5) 6	質的研究法の特徴と種類(3)	グループディスカッション エスノグラフィー グラウンデッド・セオリー・アプローチ	宮地
7) 8	質的研究法の特徴と種類(4)	発表とディスカッション エスノグラフィー グラウンデッド・セオリー・アプローチ	宮地 平
9) 10	質的研究法におけるデータ収集法と分析法(講義)	1. データ収集の方法と特徴 インタビュー法・参加観察法の種類と進め方 2. データ分析法 質的研究法における分析法の基本	宮地
11) 12	参加観察法によるデータ収集とデータ分析のプロセス(演習)	グループに分かれ、観察データをもとに分析のプロセスを体験する。	宮地
13) 14	参加観察法によるデータ収集とデータ分析のプロセス(演習)	グループに分かれ、観察データをもとに分析のプロセスを体験する。	宮地 平
15	質的研究論文のクリティーク	プレゼンテーションとディスカッション	宮地 平

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート(研究法の種類, クリティーク各30%), グループワークへの参加度(40%)から総合的に評価する。

【参考書】

随時提示する。

【学修の準備】

関連資料および関連図書を熟読して臨む。